

概要

- 日 時 12月22日（木） 8：40～10：20
- 場 所 都立練馬高等学校 体育館
- 経 緯 練馬高校では、毎年「ボランティアの日」として全校生徒約700名にボランティアに関する講演を実施
ルーテル学院大学 市川先生より依頼を受け、他つながりのある団体とともに企画

コンセプト

1. 当事者の方々から思いを直接聞き、ボランティア活動をしている方の思いを知るとともに、手話やボッチャの意味を理解してもらいたい
2. 決して希望を失わず、明日に向かって、共に一步一步、歩いていく力を育てたい
3. それぞれの可能性を考え、活動してみたいという気持ちになってもらいたい

次第

それぞれの立場から講演やワークショップを行い、「ボランティア活動とは何か」を学んでもらう

1. 私にとってのボランティア活動（ルーテル学院大学：市川）
2. ボッチャ体験（NECボッチャ部・NECマネジメントパートナー：平野）
3. 東京都がめざすこと（ボランティアのチカラ）（東京都：村田）
4. 多様なボランティア活動（TVAC：熊谷）
5. 手話体験（練馬ボラセン、練馬区聴覚障害者協会、手話サークル練馬こぶし会）
6. 最後に（ルーテル学院大学：市川）



実施の様子



市川先生講演。
途中から生徒たちの中に入って、熱く思いを語った。



ポッチャ体験。平野さんとボランティア部で模擬試合。
平野さんの妙技に拍手が起こった。



東京都（村田）講演。しっかり聴いていただき、FC
東京や長友選手の話には生徒からリアクションも。



手話体験。手話の意義のお話と挨拶の練習から、
生徒たちとともにメッセージの手話訳を实践。



手話体験について、生徒たちは特に熱心に聞き入り、
周囲の友達と話したり見せ合ったり。



最後に講師・関係者一堂に対して生徒会の皆さん
から感謝の言葉が送られた。

都説明資料

◆「ボランティア」のイメージ

「ボランティア」

みなさんは
どのような活動を
イメージしますか？



◆「ボランティア」のイメージ

ボランティアには様々な活動があります



◆「ボランティア」のイメージ

昨年度開催された東京オリンピック・パラリンピックでも
数万人のボランティアが大会の運営を支え・盛り上げました



◆「ボランティア」のイメージ

ボランティア って
ハードルが高い？

◆ 身近なボランティア活動

今すぐに、できるボランティア活動もあります



◆ 身近なボランティア活動

やさしい日本語で話す

やさしい気持ち(きも)ちで、
さいごまではっきり、短(みじか)
かんたん
に!!



◆ ボランティアの魅力

▼ ボランティアの魅力は・・・

- ◆ 社会・みんなのためになる : 困っている人を助ける
社会問題の解決につながる
- ◆ 自分のためになる : 色々な人と会うことができる
仕事や趣味、自分の成長につながる



◆ 東京都におけるボランティア推進の考え方

東京都は、1人1人の思いや得意ごとを
生かしたボランティア活動を応援することで、
人と人が支え合う東京を作っていきます



◆ 東京ボランティアレガシーネットワーク

オリンピック・パラリンピックをきっかけに、
ボランティアをしたい人が様々な団体や活動と
つながっていくシステムをつくりました

▶ 東京ボランティアレガシーネットワーク



◆ 「東京ボランティアレガシーネットワーク」でできること

「東京ボランティアレガシーネットワーク」では
様々な活動を探すことができます



◆ 最後に

みなさんもできることをできる範囲で
チャレンジしてみませんか
活動への一歩、その先に
新たな景色がきっとみなさんを待っています



生徒からの感想

◆ ボランティア活動の幅広さや魅力を学ぶきっかけになった

- ボランティア活動は自分の趣味などを生かすボランティアなど色々な種類があることを知れてよかった、楽しそうだった。
- 私は日頃ソフトテニス部の活動で学校奉仕ということで挨拶運動やお掃除など多くのことを学校内でやっていましたが、学校外東京などでも多くの活動があるということを知ることができました。
- ボランティアというのが自分が思ってたより多くのものがあり、身近なものなんだと知ることが出来た。
- ボランティアは、している側も自分のためになると知った。
- 私も中学の時にボランティア活動をしたことがありますが、やっぱり1回目は学校周りのごみ拾いから始まりました。それからたくさんボランティア活動に積極に取り組みいろんな人とたくさん関わりました。今回の話を聞いて、確かにたくさんの人と関わることで近所の人と関わりが深くなったりいろんなことを学べたと思います。
- ボランティア、と聞いてもゴミ拾いぐらいしか思い浮かばなくて、部活とかじゃないと色々なことできないと思っていたのですが、それが大間違いだったことを知りました。それぞれ個人や団体のボランティアが個々にあって、それが様々な人を救い、助け、自分を成長させるものだと言うことがとてもよくわかりました。
- ボッチャは健常者、障害者誰でも出来るスポーツであり、何も関係なくお互いが楽しめてとてもいいなと思った。
- 手話はあまり身近ではなかったが、今回目の前で講演をしてもらったことで手話自体があまり難しくない手段だとよくわかった。今までは筆談くらいしか思いつかなかったけど、手話自体も自分が覚えようと思えばやれることなので興味が湧いた。

◆ 今後の進路を考えるきっかけになった

- 今回ボランティアや障がいを持っての方のお話を聞き、今後大学で特別支援教育など福祉などについて力を入れて学んでいきたいと考えていたのでとても良い機会でした。

生徒からの感想


◆ モチベーションのきっかけになった

- 今まで小学校中学校でもボランティア活動はしていたけど、なんの意味があるのか考えずにただやっているだけだったけど、今日お話を聞いてもっと楽しく色々なボランティア活動をしたいと思いました。
- ボランティアをやってみたいとは思っていましたが「自分にはどうせ出来ない」と最初の1歩が踏み出せなかった中、この講話を聞いて多様なボランティア活動の中から私でも何か人の役に立てるような内容のものがあるのではないかと思い勇気が出ました。
- 積極的にというのはなかなか厳しいのですが、勇気を出してみるのもひとつのボランティアだと考え、挑戦していこうと思います。
- 私もボランティアをしたことがあって、最初は不安だったり、緊張したりしてたけどやってみたらめっちゃめっちゃ楽しかったので、その楽しさを周りの人にも発信して行ける立場になりたいなと思いました！
- 私は今ボランティア部でボランティア活動させて頂いています。最初は面倒くさそうとか、休みの日までやりたくないとか、そんなネガティブなイメージが多かったのですが、参加してみると結構楽しかったり、面白い話が聞けたりと、思っていたより楽しいことが多く、とても自分にとっていい経験になってると思います。私もボランティアの楽しさや面白さを伝えられるよう、他にも色々なボランティア活動に参加してみたいです。
- 東京都で「やさしい日本語」をやっていることを知れて、自分も外国の人などにやれる様にしようと思いました。
- 東京ボランティアレガシーネットワークに載っていた体験談では「初めての参加だったが共同者の方と楽しくお話できて安心して参加できた」「都外から来てる方とも交流出来た」「参加も退会も自由、好きな時に参加してOK」など気軽に参加しつつ普段出会うことがないような方々とも交流を楽しめる様な意見を見て自分も参加してみたくなった。
- バイト先に来る常連の3～4名のお客様が耳の聞こえないお客様だったので対応する際にどういう対応をされたら嬉しくてどういう対応をしたら失礼になるのかいつも悩んでいたのですが、お話を聞いてまずはありがとうの手話を覚えてみるのもいいかもしれないと思えました。失礼かなと悩んでいた現物を見せて表現することも失礼ではないと知れて本当に良かったです。

生徒からの感想

◆ 講演者への感謝の思い

- 色んな人が来て、たくさんの出会いと経験を貰った。
- 今日ボランティア部の仕事で、講師の方々と朝からご一緒させていただいた。普段部活動と一緒に活動してくださっている方にも会えて、緊張する中だったがとても楽しめた。市川さんのお話を聞いて、市川さんは出会いをととても大切にしているのだなと感じ、なんだか嬉しく感じた。学校で行われる行事やイベント以外にも、ボランティアをしてくれる人が増えてくれたら良いなと思いつつ、自分ももっと周りに目を向けられるように精進しようと思った。ボランティアに関して知識を得られるのと同時に、成長できる場を設けてくれた先生方にも本当に感謝したい。
- ほかに、ボッチャや手話体験など個別プログラムに対する感想が多数寄せられた
- 練馬高校講演担当者からも、『生徒、教員ともに「とてもよかった」という声が多かった。生徒の態度について評価する教員も多く、事前の打合せで心配していたことは杞憂に終わったようだ。』と、大好評の声を聞くことができた

- 
- 多様な団体が様々な講演等を行ったことで、多方面から生徒の興味・関心を引くことができた
 - 学生にボランティア活動を知ってもらうだけでなく、講演者同士のつながりも生まれた